

# 平成 22 年度（創立 53 年度）事業報告

## 事業状況

### 振興基金事業

#### 1. 基金造成事業

- (1) 業務方法書第 27 条により児童・生徒 1 人当り月額 40 円、37 法人( 学校数、高校 43 校、中学校 25 校、小学校 4 校、児童生徒数 37,557 人 ) の負担金は全額完納された。その額は 18,027,360 円である。
- (2) 基金運用益より 6,800,000 円を基金へ繰り入れた。
- (3) 平成 22 年度末迄の基金造成額は、平成 21 年度末の実績額 2,240,729,148 円に、本年度組入額 17,227,360 円を加え、有価証券を時価評価すると基金総額は 2,245,758,508 円となった。  
詳細は次のとおりである。

(単位：円)

項目	平成 21 年度末実績額	平成 22 年度組入額	平成 22 年度末実績額
会員負担金	975,608,948	18,027,360	986,036,308
会館減価償却引当預金		7,600,000	
寄付金及び特別寄付金	5,619,900	0	5,619,900
入会金	500,000	0	500,000
基金繰入金	507,350,000	6,799,520	514,150,000
		480	
県補助金	733,000,000	0	733,000,000
合計	2,222,078,848	17,227,360	2,239,306,208
有価証券評価損益	18,650,300	12,198,000	6,452,300
基金造成額累計	2,240,729,148	5,029,360	2,245,758,508

(備考)

平成 22 年度会員負担金のうち 7,600,000 円を減価償却引当預金に充当した。

## 2. 貸付事業

- (1) 本年度は、2 法人へ貸付を実行した。
- (2) 県の実態調査にて要改築物件・要補強とされる校舎等の改築、耐震補強をする場合は一般施設貸付利率から1%下げた貸付利率と0.5%を比較していずれが高い利率を平成23年度の貸付利率として業務方法書の改正をした。(平成23年3月31日知事より業務方法書一部変更承認)
- (3) 会員の債務状況
  - 1) 平成22年度貸付償還元金として151,100,000円(年次返還124,100,000円、繰り上げ27,000,000円)が償還された。  
(内訳)平成12年度貸付金のうちより 11,100,000円  
平成13年度 " 6,000,000円  
平成14年度 " -  
平成15年度 " 20,000,000円  
平成16年度 " 35,000,000円  
平成17年度 " -  
平成18年度 " 64,000,000円  
平成19年度 " 15,000,000円  

---

計 151,100,000円
  - 2) 平成22年度貸付金利息収入として8,976,250円(年次返還8,690,000円、繰り上げ286,250円)の入金があった。
  - 3) 会員は借入金の償還並びに利息の納入等、遅滞なく返済している。
- (4) 平成23年度各法人の事業計画及び借入希望額  
平成23年1月現在で標記の調査を行ったところ、平成23年度に借入を希望する法人は2法人で借入金額は730,000,000円となっている。

## 3. 会館会計への繰入金支出

会館会計へ減価償却引当金7,600,000円を繰入支出し、この累計額は45,600,000円である。

## 一 般 事 業

### 1. 私立学校教職員研修事業

- (1) 研修委員会の開催  
私立学校教職員研修事業を推進するため、次の事項の協議決定、企画実施に当たって研修委員会を5回開催した。
  - ア. 特別研修の実施
    - イ. 研究発表奨励補助金交付申請に対する審査決定
    - ウ. 公的機関主催の研修会等へ教職員派遣費補助金交付申請に対する審査決定
    - エ. 教科(6部会)及び教科外(11部会)の各専門部会の研修事業報告及び事業計画の承認
- (2) 専門部会長会議の開催  
各専門部会事業の反省検討、次年度の活動計画立案等のため、平成23年3月25日に開催した。
- (3) 各種研修会等実施状況
  - ア. 特別研修(新任教職員研修会、初任者教員研修会、特別支援教育研修会、5年教員研修会、10年教員研修会、中堅教員研修会、リーダー研修会、人権教育研修会)の実施
  - イ. 教科部会 6部会(国語科、地歴公民科、数学科、理科、英語科、保健体育科)及び教科外部会 11部会(学校経営、教頭、教育課程、生徒指導、学校教育相談、進路指導、学校図書館、初等教育、学校事務、防災安全教育、中学校教育)の各部会が、専門委員会等を開催し、部会の企画・運営のもと研修会を行った。
  - ウ. 実施した研修会は37回、参加した教職員は、延1,014人であった。

#### (4) 自発的教育研究に対する奨励補助

##### ア. 研究発表等奨励補助

公的機関及び本会主催の研修会・各学校における研修会において、自己が研究した事項の発表を行った者に対して補助金を交付した。

第47回中地区私学教育研修会研究発表者 7,000円×5(人) = 35,000円

##### イ. 公的機関の主催する研修会等派遣費補助

文部科学省、(財)日本私学教育研究所、(財)私学研修福祉会、静岡県教育委員会が主催する研修会、研究会、講習会、発表会、講座あるいは研究協議会等へ校長並びに教職員を各私立学校が派遣したのに対し、派遣費の一部を補助交付した。

170件 1,583,835円

#### (5) 研修会記録のまとめと開示

研修会の実施報告を記録し、振興会ホームページに掲載するとともに、研修会参加者の事後レポートと併せて、冊子を作成し閲覧に供する。

## 2. 中国の現状と文化を学ぶ生徒の交流団の実施

生徒58名、引率教員等19名を8月23日(月)から27日(金)に、中国浙江省と上海市に派遣して、現地生徒との交流及び上海万博の視察を行った。

## 3. 高校生就職支援事業の実施

県の平成22年12月補正予算で補助金を受けて、本会が事業主体となって(株)東海道シグマと契約し、キャリアカウンセラーを希望する学校に派遣し、就職未内定の生徒等への指導と支援を行った。

派遣先 10校、対象生徒 延べ417人。

## 4. 私学教育振興のための事業

### (1) 県内私学永年勤続教職員の表彰

- ・ 20年勤続 55人
- ・ 30年勤続 49人

### (2) 資料の発行

- ・ 「静岡県の私立学校 2011年版」  
県内中学校、私立中学校のある市内の公立小学校等を中心に配付した。
- ・ 「2011年静岡県私立高校入試の手引き」  
県内公私立中学校3年生に配付した。
- ・ 「2011年静岡県私立中学入試の手引き」  
県内公私立小学校6年生に配付した。

### (3) 静岡新聞私学特集号を発行した。

## 5. 「全国私学振興会連合会」との連携

### (1) 第41回総会

- ・ 平成22年6月10日(木)千葉「ポートプラザちば」で開催  
本県から松永係長が出席した。

#### 議案

- 第1号議案 平成21年度事業報告について
- 第2号議案 平成21年度収入支出決算報告について
- 第3号議案 平成22年度会員負担金額(案)について
- 第4号議案 平成22年度事業計画(案)について
- 第5号議案 平成22年度収入支出予算(案)について

#### 協議事項

次期開催県について

(2)事務職員研修会

- ・平成22年10月21日(木)、22日(金)沖縄「久米島アイランド」で開催  
長島主事、大橋主事が出席

(3)中部ブロック会議

- ・平成22年9月9日(木)岐阜「グランヴェール岐山」で開催  
鈴木事務局長が出席

## 私学会館運営事業

### 1. 固定資産税の免除について

固定資産税の免除の申請を行った結果、今年度も引き続き免除された。

### 2. 保守・管理について

(1)会館の防災・防犯警備

「株式会社セコム」と委託契約し、体制を整えている。

消防設備の定期点検(年2回)を実施し、法令に基づき消防署の検査を実施した。

(2)会館の清掃

「株式会社ランブル」と年間契約し、床清掃・窓ガラス清掃・エアコン清掃を定期的に実施するとともに毎日各階の清掃を行った。

(3)エレベーターの保守点検

「株式会社日立ビルシステム」と年間契約し、定期的に点検・整備を行った。

(4)電気の保安点検

中部電気保安協会と年間契約し、定期的に保守点検を行った。

(5)貯水槽の清掃

法定水質検査を含む貯水槽清掃及び消毒を行った。

(6)自動ドアの保安点検

「株式会社ランブル」と年間契約し「ナブコシステム株式会社」が定期的に点検を行った。